

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜農学部生物資源開発学科＞（認定課程：中一種免（理科）・高一種免（理科））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	一社会人として常識的な考えを持ち行動できる基礎教養を身に付けるとともに、自分が教員として社会に何をどのように還元できるかを考えさせ、将来の目標を明確にする。さらに、理科の基礎的な科目を中心とした知識と技術を習得し、多様な生物を扱う生命・自然科学の重要性を理解する。 あわせて、入学ガイダンス時には、教職課程関連資料配布および説明を実施し、4月の教職説明会にて「教職課程履修案内」を配布することで、教職課程履修への意欲向上を目指す。
	後期	教職課程科目の履修により教員としての基盤を形成させつつ、「教育」に対する考え方として、個人の主観だけでなく、理論の積み重ねと行動力により物事を進めることを十分に理解させる。また、学生の指導において幅広い年齢層、性格、行動を理解し、補助できる能力を身に着ける。教科科目では、生物学、化学、物理学等の理科系基礎科目を履修する。さらに、履修カルテ配付による指導を実施し、教育者に求められる資質や能力についての確認および理解を目指す。
2年次	前期	1年次に続き、教育論をより高度に学び教育者としての理解を深める。さらに、基礎的知識をより専門化するための講義科目を配置し、1年次に身に付けた基本的能力に基づき、より深化した理科的素養を身に付ける。実験科目を通じて、植物、動物、微生物をミクロからマクロの視点で観察し、分析する手法を習得する。また、中学理科で扱われる内容およびそれらの具体的な指導法について学び、実際に学習指導案を作成し、模擬授業を行うことで、自らの指導法における課題を明確化する。さらに、現職、元教員による講義、講演会、学校ボランティアに参加することで、教育現場の現状に関する理解を目指す。
	後期	教育現場での学生に対する具体的な対応能力の向上を目的として各種教育指導論を配置する。教科科目では、生物と自然に関する幅広い科目群に加えて、化学、生化学に関する実験、講義を履修することで、理科的知識や実験技術の授業における具体的な導入や展開方法を考え、そのための教材作成や教材研究に関する知識を習得し、中学理科の教育法について理解を深める。さらに、1、2年次の講義科目の知識・思考法の統合化を計り、3年次以降の専門性の高い講義や研究活動への準備を行う。
3年次	前期	教職科目では各種教育論や実践的な理科教育法に関する科目を履修することで、教育専門性を高めるとともに、多様な学生に対して人としての倫理や行動を指導できる能力の向上を目指す。また、教科科目では生命工学や機器分析学等の専門的・応用的な科目を配置し、生命・自然科学の最前線と実践に関する知識を得る。さらに、研究室に所属し、卒業論文研究を行うための基本的な考え方を学び、科学の営みとは何かを理解することで理科教員として教育すべき科学の過去から現在までを俯瞰する能力を身に付ける。 あわせて、教育実習指導の充実により、学習指導案の作成等、具体的な授業運営、校務分掌についての理解を目指す。
	後期	専門的な研究に触れることで、自然や身のまわりの事物・現象に対する関心や探究力と分析力を高め、目的意識をもって観察、実験などを行う姿勢を育成する。教育実習などを見据えて、理科教員の講義や講演会、各種ガイダンスなどに参加することで、自らの課題、目標を設定し、教員として必要な能力とは何かを探究する。また、研究室単位での実験実習により、教育に必要な基礎および応用的な実験技術の習得に努める。さらに、専門的な講義科目を通じて、理科系の学問体系を総合的に理解する。
4年次	前期	教育実習に向けて授業計画となる学習指導案の作成と、それに基づいた模擬授業を行い、授業運営について理解を深める。教育実習に参加し、教職現場を体験することで、教員として必要な資質を習得する。適宜、現場教員と教職課程教員や事務員による的確なサポートを行い、学生にフィードバックすることで、不足している知識や技能等を補う。さらに、卒業論文に関わる実験や調査を進め、その過程で計画能力、調査能力、実行力、理解力、考察力など各種能力の向上に努める。
	後期	4年次前期に続き卒論研究を着実に遂行し、最前線、最先端の科学に関する意識を涵養する。また、卒業論文の作成を通じて科学の営みを体現し、科学的な表現方法、プレゼンテーション能力を身に付けることで、教職課程におけるこれまでの学びの集大成とする。同時に、理科教員に求められる資質と能力として必要な科学的探究力と態度を育成する。最終的には、卒業論文を通じて得た最新知見を活用した独創性のある研究やそれら知見を活用した教育法の修得を目指す。